



日本最南端の自然文化都市



心あたたかくふるさと交流

第2回世界のウチナーンチュ大会が11月16日から19日までの間、宜野湾市を中心に開催され、世界各国へ雄飛し“地球のかけはし”として活躍する県出身者三千人余りが参加しました。

石垣市では20日に、大会に参加した12名の郷友と家族を招いて「ふるさと交流会」を開催し、翌21日には島内観光と記念植樹を行い、地元の関係者と心あたたまる交流を行いました。

記念植樹では「オオバナサルスベリ」3本を八島町に植え、ふるさとのさらなる発展を祈念しました。

今月の主な内容

この1年のあゆみ…………… P 2	戸籍謄抄本手数料変更…………… P 8
初の防災訓練…………… P 6	厚生年金特例措置加入手続中…………… P 9
ワールドカップトライアスロン開催決定… P 7	母子家庭へ医療費を助成…………… P12

1995年 12月号
No. 292

(平成7年12月20日発行)

人口と世帯数

総人口 43,142(+ 78)
男 21,728(+ 45)
女 21,414(+ 33)
世帯数 15,180(+ 40)

(平成7年10月末日現在)

石垣市

この一年の

あゆみ

(1/4) 「平和の心」を世界へ発信するため
「世界平和の鐘」鐘打式を行う



(1/18) 阪神・淡路大震災による被災者救援のため市民からの義援金が相次ぐ



交流し 学びあう百人委員会スタート

(2/19) 市民と行政が学び、考え、交流する百人委員会発会式



(1/31) 「長寿都市」石垣市の誇り・百歳と85歳の長寿者へ頌状を贈呈

今年、太平洋戦争・沖縄戦終結から50年目の節目を迎え、石垣市では平和な世界の実現を求める記念事業を展開しました。また、蘇澳鎮（台湾）との姉妹都市締結が実現し国際協力へ力強く第一歩を踏み出しました。一年のしめくくりとして石垣市の歩みを辿ってみたいと思います。

日	1月	2月	3月	4月	5月
8日	第二回 石垣市議会定例会				
22日	沖縄開発庁の尾辻政務次官が来島				
21日	幕式				
21日	「八重山群島ミバエ根絶之碑」除				
20日	重山広域組合が義援金を配分				
19日	3基目の空き缶回収機（カンポイ）を新川に設置				
19日	阪神大震災で日赤石垣市地区と八				
19日	職員派遣（水道課・瀬長幸弘）				
7日	阪神大震災の水道災害復旧業務で				
4日	石垣市百人委員会が発会式				
3日	第一回 石垣市議会臨時会				
1日	石垣港旅客ターミナル（仮称）設				
31日	立準備委員会発足				
30日	壁面緑化を進めるため、ピパージイ				
25日	の苗を配付				
25日	近畿八重山郷友会員と阪神大震災				
25日	で情報交換会・被災地視察を実施				
25日	第一回 石垣市議会臨時会				
24日	石垣市百人委員会が発会式				
17日	阪神大震災の水道災害復旧業務で				
16日	職員派遣（水道課・瀬長幸弘）				
11日	石垣空港駐車場と進入道路を供用				
11日	開始				
11日	明和の天津波遭難者慰霊祭を開催				
11日	「ごみ処理対策委員会」が発足				
11日	国勢調査実施本部を設置				
3日	平久保地区まちづくり座談会を開				
3日	催				
1日	こども博物館教室が開講式				
1日	組織変更で、水道課を水道部に更				
1日	更し消防本部を部相当として設置				
31日	平成7年度「年度始め式」				
31日	訪問指導員と母子保健推進委員に				
31日	委嘱状・依頼状の交付式を行う				
31日	地区プロパの事務説明会を開催				
31日	「男女で創る新時代」をテーマに				
31日	女性情報交換会を開催				
31日	石垣空港駐車場と進入道路を供用				
31日	開始				
31日	平成七年度「施政方針演説」				
31日	阪神大震災の復旧救援隊として市				
31日	消防職員を派遣（消防本部・大浜				
31日	安久）				
31日	納税推進キャンペーンでチラシと				
31日	苗木を配付				
31日	「応援しますあなたの健康づくり				
31日	と福祉の心」をテーマに石垣市健				
31日	康福祉まつりを開催				
31日	新おきなわ観光名所百選で川平湾				
31日	が三位に選ばれる				
31日	うるずん八重山海びらき開催				
31日	八島小学校で初めての卒業式				
31日	少年スネークが「県学童軟式野球				
31日	大会」で県制覇				
31日	機構改革を実施し「健康増進課」				
31日	「みどり推進課」などへ課名変更、				
31日	「国際交流係」「女性行政係」を				
31日	新設				
31日	こいのぼり掲揚式を開催				
31日	職員広報「和と輪」を発行				
31日	大浜地下水源地施設が完成				
31日	市立富野小中学校の体育館が落成				

(6/23) 次代を担う小中学生が参加して沖繩戦終結五十周年「戦没者追悼式・平和祈念式」を開催



(4/27) 北部地区活性化のため、平久保でまちづくり座談会を開催



(5/26) 林業総合センターがオープン



(6/9) 「青少年センター」開所式(上)



(5/23) 福祉のまちづくり講演会

(6/23) 「平和の礎」(糸満市)に石垣市関係者四千三百十四名が刻名



(5/1) 新しい行政機構がスタート(右)



18日 「サバービースコネクション」一行が石垣島に到着、大濱市長が広島・長崎市長へメッセージを託す

17日 「福祉のまちづくり講演会」でリチャード・スカップ氏が講話

14日 市学力向上対策委員会が総会

13日 「八重山の観光と物産展」を那覇で開催

13日 「お役所言葉見直しマニュアル」を作成

10日 「石垣市林業総合センター」がオープン

9日 「よみがえる戦前の沖繩展」(沖繩戦終結50周年記念事業)を開催

9日 石垣小学校のプールが完成

9日 平成七年度公共事業説明会を開催

7日 石垣市シルバー人材センター総会

7日 消費生活モニターに十六人を委嘱

6日 海神祭とマンタピアを同時開催

6日 家庭相談員と生活保護面接相談員へ委嘱状を交付

5日 石垣島の戦跡めぐりを実施

5日 女性問題会議が「石垣市女性行動計画案」を提言

4日 地球環境について考えるため「リサイクルパネル展」を開催

4日 市スポーツ少年隊を結成

3日 宮良婦人学級が開級式

3日 「石垣市青少年センター」開所式

2日 新石垣空港早期建設懇談会を開催

2日 県交通安全子ども自転車大会で明石小が優勝

2日 緑の戸籍簿作成のため「巨樹・巨木・古木等調査委員会」委員へ委嘱状を交付

2日 登野城土地区画整理事業評価委員へ委嘱状を交付

2日 第三回 石垣市議会定例会

2日 「平和宣言文」入賞作品表彰式(沖繩戦終結50周年記念事業)

2日 「チビッコ環境探検隊」参加者が

21日 環境衛生施設を見学

20日 「平和を考える図書展」(沖繩戦終結50周年記念事業)を開催

20日 慰霊の日「世界平和の鐘」鐘打式

20日 沖繩戦終結五十周年「戦没者追悼式・平和祈念式」を開催、平和宣言を行う

20日 「平和の礎」除幕式が糸満市で開催、石垣市関係者四千三百十四名が刻名される

23日 「いま、考えてみたい わが街のごみ減量&リサイクル」をテーマに「リサイクル青空市」を開催

23日 衆議院沖特委の六氏が来島

23日 台風被害による「さとうきび増産奨励事業」で市と石垣島製糖が生産農家に肥料を配付

22日 「石垣市文化財愛護少年会」が開講式 二十二カ所の遺跡を見学

22日 「市制施行四十八周年記念式典」開催

22日 「広げよう平和の輪 伝えよういしがきの心」をテーマに「いしがき平和学級」が開級式

22日 「洞窟(ガマ)(沖繩戦終結50周年記念事業)を一般公演

22日 「石垣市平和祈念資料展」(沖繩戦終結50周年記念事業)と「平和特別企画展(県主催)」を開催

22日 蘇澳鎮から親善訪問団31人が来島し、市民交流を深める

22日 四カ字豊年祭

22日 自然体験仲間づくり事業「自然探検十日間の冒険」に五十人が参加

22日 「自立を求めて」をスローガンに「女性講座いしがき95」の開講式を開催

22日 沖繩開発庁の小澤潔長官が来島

22日 「健康は守る時代からつくる時代へ」をテーマに大濱市長が職員対象に「健康づくり講座」を開催



(8/17) 沖縄戦終結50周年記念事業として「ピースフルフェスタ95」を開催

平和メッセージを発信



(7/10) 市政48周年記念式典

(8/23) 石垣市が「ゆとり創造宣言都市奨励事業」に指定される



(8/25) 「であい橋」開通式



(8/19) 常陸宮両殿下が来島

2日	1日	1日	30日	26日	26日	25日	23日	20日	19日	17日	16日	15日	15日	14日	8日	29日	29日	29日	29日				
遭難者慰霊の日(稚内市開催)	「子育て平和の日」「大韓航空機	国民健康保険税条例を一部改正	付・防災ビデオを放映	「防災の日」でリーフレットを配	9月	「であい橋」開通	パナ公園内に「であい橋」が	石垣市が「ゆとり創造宣言都市奨励事業」に指定される	常陸宮両殿下が来島	「ピースフル・フェスタ95」(沖縄戦終結50周年記念事業)を開催。高校生が詩や歌声で平和のメッセージを発信	新川小で夏期巡回ラジオ体操沖繩大会(NHK)を開催し市民四千人が参加	市民平和音楽祭で稚内市と「平和メッセージ」の交換	式	終戦記念日「世界平和の鐘」鐘打	第四回 石垣市議会臨時会	国民健康保険運営協議会が税率改定等を答申	8月	処分地候補地について答申	市ごみ処理対策委員会がごみ最終	三川家庭教育学級が開級式	善試合	石垣市の少年サッカーチームが親	友好都市スポーツ交流で稚内市と
11日	5日	5日	4日	1日	1日	28日	26日	25日	22日	21日	15日	13日	12日	11日	7日	6日	5日	5日	5日	5日	5日	5日	
委員へ委嘱状を交付	石垣市青少年センター運営協議会	近畿八重山郷友会が義援金お礼のため石垣市を訪問	大浜信泉記念事業期成会が石垣市へ募金の一部として七千万円を寄贈	稚内市との職員交流派遣事業で内山真澄さんと遠藤直仁さんが来島、石垣市から宮良長克さんと下地傑さんを派遣	平成7年度「国勢調査」開始	市総合体育館の進捗状況を公開(進捗率八五・六%)	縮結調印式	蘇澳鎮(台湾宜蘭県)と姉妹都市	初国際チャーター便(ANK機)が石垣-台北間を就航	敬老会を開催し、九十七歳を迎えた方へ頌状と記念品を贈呈	市議会で「石垣市国土利用計画」(案)を可決	8月の観光入域客が過去最高の4万7千2百人を記録	真喜良小学校に決定	新川小分離新設校の校名が「市立	とうばらーま大会を開催	「福祉のまちづくり条例制定委員会」委員の委嘱状交付式と第一回検討委員会を開催	新川小分離新設校に関する公聴会を開催	視察	プトラライアスロン大会のコースを	マクドナルド会長がワールドカップ	国際トライアスロン連合のレス・	世界平和の鐘同時鐘打式を行う	

国際協力の時代へ



(9/25) 初の国際チャーター便就航



(9/26) 姉妹都市締結調印式



(11/10) トライアスロン・ワールドカップ大会石垣島大会の開催決定



(10/14) 「アジア民族芸能祭」開催



(11/25) 市民参加の防災訓練実施

不幸へよる少女暴行事件を対し日米地位協定の見直しを要求する

八重山郡民総決起大会

○米軍人の謝罪を真正に
○被害者に対する謝罪と完全補償を早急に実施せよ!
○日米地位協定の見直し
○基地の整理縮小を促進せよ!

(10/21) 日米地位協定の見直しなどを求め郡民総決起大会を開催

16日	15日	13日	12日	10日	10日	9日	4日	27日	27日	21日	16日	16日	14日	14日	13日
「地域づくり全国交流会議」で宮	「石垣市福祉のまちづくり条例検討委員会」委員が車いすとアイマ	第七回 石垣市議会臨時会	「石垣市福祉のまちづくり条例検討委員会」委員が車いすとアイマ	「ゆとりを育み、安らかな市民生活」の実現に向けて「石垣市ゆとり創造プラン協議会」が発足	多くの市民が参加して市民大運動会を開催	第七回 石垣市議会臨時会	「石垣市福祉のまちづくり条例検討委員会」委員が車いすとアイマ	「石垣島まつり」「広域芸能まつりやえやま」「八重山の産業まつり」を同時開催	太平洋洋島しょ国の記者団が来島	「96年I・T・Uトライアスロン・ワールドカップ石垣島大会」を来年五月十二日に開催することが国際トライアスロン連合の理事会で決定、「ファミリートライアスロン大会」も同時開催	「ゆとりを育み、安らかな市民生活」の実現に向けて「石垣市ゆとり創造プラン協議会」が発足	多くの市民が参加して市民大運動会を開催	第七回 石垣市議会臨時会	「石垣市福祉のまちづくり条例検討委員会」委員が車いすとアイマ	第六回 石垣市議会臨時会
9日	9日	7日	6日	4日	3日	2日	1日	29日	29日	28日	25日	22日	22日	21日	13日
「障害者の日」市民の集い	事業県民百万本植樹運動	石垣市植樹祭(沖縄戦終結50周年)	民生委員委嘱状伝達式	第八回 石垣市議会定例会	人権週間パレード	石垣市史編集委員十七氏に委嘱状を交付	石垣市史巡見「村むら探訪・開拓の村むらを歩く」実施	戦後50年特別企画展「開拓の村むら」を開催	農業経営改善計画認定証交付式を行い七法人と百八の個人経営体に認定証を交付	石垣市史編集委員十七氏に委嘱状を交付	石垣市史巡見「村むら探訪・開拓の村むらを歩く」実施	人権週間パレード	第八回 石垣市議会定例会	民生委員委嘱状伝達式	石垣市植樹祭(沖縄戦終結50周年)
里テツさん(一日市長)が国土庁長官賞を受賞	石垣小で緑の少年団結団式	沖縄女性の50年フォーラムで平和講演会とパネル展を開催	「石垣市行政改革推進本部」と「石垣市行政改善委員会」が発足	市民の防災意識を高めるため、市民参加による「防災訓練」を実施、33の機関・団体と千人余りの市民が参加	「96年トライアスロンワールドカップ石垣島大会・ファミリートライアスロン大会」事務局の看板を設置	女性行政研修会として「女性(男性)問題を語る」と題して講演会を実施	「婦人の主張大会」入賞者の発表と「稚内市派遣職員帰庁報告会」を実施	「米軍人による少女暴行事件を糾弾し日米地位協定の見直しを要求する八重山郡民総決起大会」を開催。三千人の郡民が参加	石垣市百人委員会が室井澄生氏(地域活性化センター)を招き、まちづくり講演会を開催	石垣連がりサイクル推進功労者表彰式で環境庁長官賞を受賞	伊野田と大里で農村公園整備工事を開始	新川と名蔵でこみ最終処分場の説明会を開催	「アジア民族芸能祭いしがき95」を開催し国内外の五団体が独特の演技を披露	「アジアン民族芸能祭いしがき95」を開催し国内外の五団体が独特の演技を披露	畜産共進会を開催

高めよう防災意識 初の防災訓練を実施

石垣市では十一月二十五日に石垣中学校を主会場に新栄町・浜崎町地区住民を対象に大規模な地震・津波の発生を想定した「防災訓練」を実施しました。

この訓練は、「災害対策基本法」と「石垣市地域防災計画」に基づき、市内の防災関係機関と地域住民が一体になっ



千名余りの市民が参加して防災訓練を実施

て防災訓練を実施し、市と防災関係機関相互の協力体制を整え、市民の防災意識を高めることを目的に実施されたものです。

当日は新栄町・浜崎町地区の住民や新川小学校児童・生徒、地区内の保育園児、八重山支庁、八重山警察署、石垣島地方気象台、石垣海上保安部、石垣航空基地、N T T八重山営業所、石垣島ハムクラブなど三十三の関係機関・団体が参加しました。

災害の想定

訓練は、次のような想定で行われました。

午前十時〇分、石垣島の南東およそ百二十キロメートルの海底を震源とするマグニチュード七、四の強い地震が発生し、石垣島で震度六を観測。

この地震のため、市内では家屋やブロック塀の倒壊、道路の損壊、石垣港、石垣漁港の岸壁が破損、水道・電気・



給水支援訓練・支援物資輸送訓練を行う

電話などのライフラインが多大な被害を受け、多くの負傷者・行方不明者が出た。さらに、市内の高層マンションから火災が発生し、負傷し逃げ遅れた住人がおり救出を求めているとの情報が消防本部にあった。さらに、折からの強い北西風により、付近へ延焼するおそれが出てきた。

一方、沖縄気象台から午前十時三分、地震による津波警報が発表されたため、その情報に基づき石垣市長は直ちに海岸に近い新栄町・浜崎町の住民、新川小学校の児童に避

難命令を発令した。

十七項目の訓練を実施

津波警報発令後、石垣市は石垣中学校に現地災害対策本部を設置し、消防署・海上保安庁の巡視艇・石垣航空基地のヘリコプターなどから住民への津波警報を合図に地域住民や新川小学校の児童らが避難場所の石垣中学校へ徒歩で避難しました。

市内では有線電話が不通になったため行政や石垣島ハムクラブ、N T T八重山営業所等の団体がそれぞれの無線を使って無線通信訓練や緊急電



新栄町・浜崎町住民が参加

話設置訓練を行いました。避難場所では市消防本部が、倒れた家屋のガレキに生き埋めになった住民の救助訓練や、炎上中の高層マンションに負傷し逃げ遅れた住民がいると想定で救出訓練を行いました。また、避難民へ日常用品を輸送する災害救援物資輸送訓練や水道管の破裂により断水状態となったことを想定した給水支援訓練も行われました。

防災訓練の訓練項目は十七種類あり、事前措置訓練（一項目）、初動措置訓練（三項目）、災害応急措置訓練（十三項目）を実施しました。

生命を守る防災対策を

石垣島では一七七一年に、八千五百名近くの犠牲者を出した明和の大津波が発生しており、そのような災害が二度と起こらないという保障はありません。石垣市は周囲を海

に囲まれており、海底で地震が発生した場合には、津波のおこる可能性が非常に高く、普段から災害に備えることが大切です。

新川小学校児童も訓練を見守る



八重山諸島は、台風銀座といわれるように、これまでの防災対策は台風を中心とする風水害に重点が置かれていました。しかし、今年一月十七日未明に発生した阪神・淡路大震災は、犠牲者五千五百余名を出す悲惨な結果となり、大都市を大地震が襲うとどうなるかを示し、今なお国民の記憶に鮮明に残っています。改めて市民の生命と生活を守る万全の防災対策と、災害

に強いまちづくりが重要な課題です。地震をはじめ、災害の発生に対し、被害を最小限に抑えるためには、市民一人ひとりが「自分の命は自ら守る」「備えあれば憂いなし」という防災の原点に立ち、日頃から地震対策を行い、防災機関と市民が一体となった迅速・的確な対応ができるよう訓練を積み重ねることが大切です。

催定 国際トライアスロン 開決 ワールドカップ石垣島大会



国際トライアスロン連合（ITU）の「96年ITUトライアスロン・ワールドカップ石垣島大会が来年五月十二日に開催されることになりました。これは、日本時間の十一月九日、メキシコで開かれたITU理事会で正式に決定されたものです。大会は、世界各地の十一カ所で行われる96年大会の第一戦で、国内外から選抜された

負傷者を迅速に運ぶ救急隊員



トップアスリート六十人が出場します。また、石垣島ファミリートライアスロン大会もワールドカップ大会と同日開催されます。

石垣島が開催地として評価されたのは自然・交通アクセス・宿泊施設の充実・伝統文化が豊か・ファミリートライアスロン大会の開催実績などが挙げられます。

大会は世界百二十カ国にテレビ放映されるため、石垣市を全世界に紹介することができ、また、大会参加者や関係者との交流の輪も広がること期待されています。

戸籍謄抄本等の交付手数料が変わります

平成8年1月1日から、戸籍の謄抄本等の交付に要する手数料の額が下記のとおり改定されます。

交付手数料の改定前と改定後の金額

申請内容	改定前の手数料	改定後の手数料
①戸籍の謄抄本又は記録事項証明書	400円	450円
②除籍の謄抄本又は記録事項証明書	700円	750円
③戸籍に記載した事項に関する証明 (証明事項1件)	300円	350円
④除籍に記載した事項に関する証明 (証明事項1件)	400円	450円
⑤届出・申請の受理証明書又は届書 その他の書類の記載事項の証明書	300円	350円
⑥上質紙を用いた受理証明書 (婚姻・離婚・養子縁組・養子離縁又は 認知の届出)	1,300円	1,400円
⑦届書その他の書類の閲覧 (戸籍法第48条第2項の書類)	300円	350円

問い合わせ：民生部市民課 ☎2-1260(直通)2-9911(内線211・212)



いのちを救えるのは
チャンス!

骨髄バンク推進月間



あなたかも知れない

国民年金の相談は 納付指導員へ

12月1日から宮良・白保地区担当の納付指導員に高良和子さんが担当することになりました。国民年金に関することは、何でも相談して下さい。

<カバンなどを持っているとき>



<何も持っていないとき>

②落下物から頭を保護
地震から身を守るために、家庭では家の耐震診断と同時に家具の固定などさまざまな工夫をしましょう。
こうした場合、備えをすれば、家具が倒れた時に危険を少なくすることが出来ます。
戸外には、ブロック塀や看板、窓ガラスなど、倒れたり頭上から落ちてきたりすると危険なものがたくさんあります。こうした倒壊物や頭上からの落下物から身を守ることは、外での地震対策の基本といえます。
看板など大きな落下物に対しては、ふだんから、まわり

わが家の 地震対策

に注意しながら歩くといった用心深さが必要です。
また、現在の窓ガラスには非常に大きなものがありますから、気をつけなければいけません。
実際、外で大きな揺れを感じた場合、どのような行動をとればいいのか。
揺れを感じたら、頭上からの落下物に備え、カバンや両腕で頭を保護します。荷物を持っているときは荷物で、何も持っていないときは両腕で頭を守りましょう。このとき、落下物が直撃したときの衝撃を弱めるために、腕やカバンを5〜10センチ離して頭を覆うことが大切です。また、顔を守るために、両ひじを前に出して、顔を隠すことも忘れないでください。そして、手首の動脈や神経を保護するために、手の甲を上にしてください。
手のひらを上にとすると、鋭いガラスで動脈や神経を切つて、大けがをしてしまう可能性があります。
このように、特に危険物が多い屋外では、まず、自分の命を守る事が大切です。
地震はいつ、どこで起きるか分かりません。いざというときのために、普段から回りの状況に注意を払う習慣を身につけましょう。

「マルチ商法」
商品販売の誘いに注意

マルチ商法の正式名称は、マルチレベル・マーケティング・プラン（多階層販売方法）で、アメリカで始まり、日本では昭和四十五年頃から普及しはじめました。

マルチ商法は「連鎖販売取引」として訪問販売法で規制されています。また、不適正勧誘等の禁止、広告での一定事項の表示、契約の際にマルチ商法の概要を書いた書面の交付、十四日間のクーリングオフ制度などが義務づけられています。

この販売方法は「お金が儲かる」と言って、商品を買わせたり、入会金を払わせて組織に加入させます。加入した会員は自分が儲けるために友人・知人等を誘い会員数を増やします。

このように次々と消費者が販売員（会員）になってピラミッド型に組織を拡大し、販売網を広げていきます。

滞納なしで、
さわやかな新年を

税務課窓口を延長して開設

税務課では、市県民税や固定資産税を納付する市民のために収納窓口を延長して開設します。

開設期間

12月25日から29日までの間

午後7時まで延長して行います。



下部会員が増加し続けることにより、上位の会員に高額な利益（バックマージン）が入る仕組みになっています。

このように、ねずみ算式に会員を増やす方法は、必ずどこかで行き詰まり、大多数の販売員が被害を受けることになり、儲かるどころか投資したお金も回収できなくなりま

す。また、上位の会員になるため成績を上げようとして自分で商品を買ひ込み、多額の借金を抱え込む会員も少なくありません。

会員は自分の友人や知人を誘い、商品の販売や組織への加入を行うため、トラブルが発生すると信頼関係を失い、

人間関係を悪化させてしまいます。

勧誘や販売が計画どおりでなく、期待通りの収入が得られないとして被害に気づくまでに相当の時間を要します。このような販売方法で扱われている商品は浄水器、婦人下着、ふる水浄化装置、洗浄剤、羽毛布団、化粧品等が挙げられます。

不適正勧誘等の禁止とは―（取引について重要な事実を隠してはいけない、「必ず儲かる」といった事実と異なることを言っていない、人を威迫し困惑させてはならない）

沖縄県消費生活センター
八重山分室二―一二八九

恩給欠格者、引揚者の皆様へ

平和記念事業特別基金（総理府認可法人）では、恩給欠格者、引揚者の方に対して、内閣総理大臣名の書状などの贈呈事業を行っています。

引揚者の皆様へ

第二次世界大戦の終結後、

本邦以外の地域から引き揚げてきた方のうち「引揚者等に対する特別交付金の支給に関する法律」（昭和42年法律第一一四号）による特別交付金を受給された方に、平成三年度から書状の贈呈を行っています。

恩給欠格者の皆様へ

同基金では、恩給法でいう

旧軍人属であって、年金恩給や共済年金を受けていない恩給欠格者のうち、外地勤務経験があり、加算年を含めた在職年が三年以上の方に対して、平成元年度から書状と銀杯などの贈呈を行っています。さらに、平成七年度からは対象者の範囲が拡大され、外地勤務経験があり加算年を含めた

在職年が三年未満で、実在年が一年以上の方に対しても、書状と銀杯が贈呈されることになりました。

△請求期限

書状の請求期限は、平成8年3月31日までです。

△請求書類

平和記念事業特別基金のほかに、都道府県市区町村の窓口にも用意してあります。

問い合わせ

☎一一二

東京都文京区大塚

五―三―一三

平和記念事業特別基金

☎〇三―三九四五一八七―一七

△恩給欠格者関係

・業務第1課

〇三―三九四五―四七〇七

△引揚者関係

・業務第2課

〇三―三九四五―四七〇三

入所できる保育所（園）と定員

	保育所（園）名	所在地	定員
市立保育所	① 大川保育所	大川70	116
	② 登野城保育所	登野城890-12	60
	③ 石垣保育所	石垣481	60
	④ 新栄町保育所	新栄町7	60
	⑤ 新川保育所	新川7	60
	⑥ 伊原間保育所※	伊原間40-7	30
認可保育所	⑦ オリブ保育園	平得74	120
	⑧ あいの保育園	大川177	60
	⑨ エンゼル保育園	新川300-1	60
	⑩ やしの実保育園	大川577-2	90
	⑪ みよし保育園	新川362-5	60

※へき地保育園

「オリブ保育園」「あいの保育園」「みよし保育園」はゼロ歳児を6名募集します

平成8年度 保育園児募集

平成8年度保育所（園）児を下記により募集しますので、入所（園）を希望される方は、関係書類を添えて児童家庭課・保育係へ申請して下さい。

▼入所基準

市内在住で家庭内で保育できない児童。

▼手続きに必要なもの

- ①保育所入所（園）申請書 ②印鑑 ③住民票謄本
- ④市税課税証明書（保育所関係・平成7年度）
- ⑤源泉徴収票・確定申告の控（平成7年分）
- ⑥勤務証明書 ⑦その他必要書類

①⑥の用紙は児童家庭課にあります。

伊原間保育所は④⑤は除きます。

▼受付期間

平成8年1月10日（水）～平成8年1月31日（火）

平成7年度の申請は平成8年度には使用できません

一問い合わせ一

児童家庭課児童係 ☎2-9911(内線254)2-1704(直通)

厚生年金特例措置加入手続実施中

特例措置に加入し老後の生活安定を図ろう

今年の4月から、沖縄県内における厚生年金の格差是正について、特例措置が実施されています。

この制度は、昭和29年5月1日から昭和44年12月31日までの間、本土の厚生年金に加入できなかった期間について雇用経歴の認定を受け、特例的な加入を認めるものです。

そのため、県（厚生年金問題対策室）では、雇用経歴の認定業務を行っています。

10月末現在、全対象者約8万8千人中、対象受給者約2万9千人について、特に加入促進を呼びかけていますが、約44%にあたる1万2千人名余りの受給対象者がまだ申請をしていません。

老後の生活安定のために

◎特例措置に加入するメリット

(1)特別納付保険料を納めると、受け取る年金額が増え、長生きするほど年金の恩恵が受けられます。

◎特別納付保険料と税金について

(1)特別納付保険料は社会保険料として所得金額から控除されます。

◎特別納付保険料は融資を受けて納付できます。

(1)融資制度として「厚生年金ローン」が設けられており、それを活用して全額納付することができます。

◎厚生年金ローンの大きな特徴（制度融資）

(1)県の利子補給があるため低利です。

(2)原則として無担保、無保証です。

(3)満75歳6ヵ月以下の方（病気でない方）は団体信用生命保険に加入するため、万一の場合でも負債は残りません。

満75歳6ヵ月を越える方は、団体信用生命保険に加入できませんが、融資利率は満75歳6ヵ月以下の方より低利です。

(4)最長5年間の借入れが出来ますので、特例納付によって年金が増加した分を返済に充てれば償還が容易となります。

◎特例措置の対象者

(1)今回の特例措置の対象者は昭和45年1月1日から昭和47年5月14日の期間（復帰前）に沖縄の厚生年金に加入した方で昭和20年4月1日以前に生まれた方です。

◎対象者と思われる方で通知の届いていない方へ

(1)今回の特例措置の対象者の方には、今年5月末までに通知しましたが、その中には通知できないケース（現在、厚生年金を受給していない方や、会社等をやめてから、かなりの年数が経過している方などに多い）が多数あります。

対象者と思われる方は、社会保険事務所で確認（対象者であるか、追加納付できるつか）した後に県の厚生年金問題対策室や最寄りの分室窓口で手続をして下さい。

◎雇用証明と雇用経歴認定申請

(1)雇用証明とは、昭和29年5月から昭和44年12月の間に自分が雇用されていた期間について証明することで、県の窓口で申請して下さい。県は同申請に基づいて雇用経歴の認定を行います。なお、雇用証明の証拠資料がどうしてもない場合で、昭和40年1月から昭和44年12月の5年間に限っては、市町村長の発行する在任証明書で申請することができます。

問い合わせ先

■雇用経歴の認定申請手続きの窓口

・厚生年金問題対策室八重山分室
八重山支庁内・☎09808-3-6934

■保険料の算定、納付手続きの窓口

・石垣社会保険事務所・☎09808-2-9211

■駐留軍の雇用経歴のある方等の相談窓口

・（財）沖縄駐留軍離職者対策センター

☎098-898-5567

■厚生年金ローン取扱い金融機関

□琉球銀行□沖縄銀行□沖縄海邦銀行□労働金庫□JA八重山郡農協(以上金融機関の本支店)

北方領土返還要求運動の 歌唱と歌詞を募集

日本固有の領土である北方領土（歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島）の返還は、全国民の悲願であるにもかかわらずいまだ実現していません。

北方四島の河川はサケが遡上し、世界の三大漁場の一つである周辺の海は、豊富な水産資源に恵まれています。各島々には、原生林が群生し、ハマナスなどの花々が咲き乱れ、手つかずの自然が残る豊かな島々です。

1日も早く四島が返還され、日本人とロシア人により良き隣人付き合いのできる日々が来ることを願う北方領土返還要求運動歌を作成することとしました。

北方領土返還要求運動にふさわしい歌唱と歌詞を募集します。

〒102東京都千代田区平河町2-4-4

第一東栄ビル2階

北方領土問題対策協会

☎03-3263-7691

締切：平成8年1月10日（消印有効）

基盤整備で豊かな農業を

昭和60年度から実施してきた県営ほ場整備事業、トウレ地区の権利者会議が10月18日（トウレ第2換地区）、10月25日（トウレ第1換地区）に開催され、権利者の同意をもって換地計画が決定されました。

トウレ地区は、石垣市南西部の名蔵川流域にあり、標高2～30mの低平地のため湿田深田が多く、また道路や排水路、区画が未整備のため産業活動に支障をきたしていました。今回の基盤整備により機械が導入され、農業振興が促進されています。



低利で教育費を貸付します 国の教育ローン年金教育資金貸付

この貸付制度は、年金積立金を原資とした還元融資の一環として、厚生年金保険及び国民年金に10年以上加入している方が入学時や在学中の教育費を低利で借りることができる制度です。

また、この貸付は、沖縄振興開発金融公庫の一般教育ローンとの併用もできます。

〈融資金額〉

学生・生徒一人につき

○厚生年金保険加入中の方は100万円以内

○国民年金加入中の方は50万円以内

〈融資利率〉

年3・25%

（平成7年11月11日現在）

〈返済期間〉

8年以内

（据置期間は在学期間内で最長4年）

〈問い合わせ〉

（社）沖縄県年金福祉協会 ☎098-866-6955

オウム真理教関係者 指名手配被疑者発見について

警察では「オウム真理教関係指名手配被疑者」に対する追跡調査を強力に進めているところです。下記5名は警察庁指名特別手配被疑者等で逃走中の者であります。

これらの指名手配被疑者等は、一般人を装い、アパート、賃貸マンション等に一人で、又は同伴者を伴い潜伏居住していると思われるので「おかしい」と感じたら警察への連絡をお願いします。

又、近所で指名手配被疑者等に似ている者を見かけた場合は、最寄りの交番か100番通報して下さいますよう皆様方のご協力をお願いします。

沖縄県警察本部刑事部捜査第一課

☎098-862-0110(内線2316/2317)

オウム110番フリーダイヤル ☎0120-006024

殺人、殺人未遂



北村 浩一

殺人、殺人未遂



高橋 克也

殺人、殺人未遂



林 泰男

殺人、殺人未遂



菊地 直子

逮捕監禁致死



平田 信

「ピ・ポ・パ すばやいコール110番」

警察では事件、事故等緊急事態が発生した場合に利用する「110番」をより適切で効果的に活用するため、1月10日を「110番の日」と定め、正しい110番の利用方法について協力を呼びかけています。

110番は、事件、事故が発生した時に警察官が、現場へいち早く急行したり、犯人や犯行車両の緊急手配などで極めて重要な役割を果たす緊急用務のための電話です。

110番電話の45%がいたずらや間違い電話で占められており、実際に事件や事故が発生した場合に大きな支障をきたします。

次のような事件や事故を見たり、聞いたり、被害にあったときは、すぐ110番で通報して下さい。

○けんか ○強盗や泥棒 ○人が倒れている ○あやしい人がいる ○交通事故やひき逃げ

(1) 110番の上手な掛け方

- ▷いつ・どこで・何があったのか
- ▷犯人の特徴・逃げた方向
- ▷あなたの住所、氏名、電話番号などを係の質問に落ち着いて答えて下さい

(2) その他の警察電話の紹介

緊急の用件でない場合は、八重山警察署、または交番・駐在所に電話して下さい。

- 八重山警察署2-0110 ○大川交番2-3154
- 新川交番 2-3144 ○川平駐在8-2110
- 白保駐在 6-7003 ○伊原間駐在9-2110

「世界平和の鐘」打ち初めについて

「世界平和の鐘の会」沖縄県支部では、戦争の悲惨さと平和の尊さを国の内外にアピールするため、「慰霊の日」「終戦記念日」をはじめ、友好都市・稚内市との同時祈念鐘打式を行っています。これからも世界平和実現へ向けたアピールを継続してまいりますので皆様のご協力をお願いします。

尚、新年の「世界平和の鐘」打ち初めについては、例年のような式を行わず、下記のとおり鐘打時間を設けますので定められた時間内に鐘打して頂きますようお願いいたします。

鐘打時間

日時・平成8年1月1日（月曜日）

午前10時から午後3時まで

場所・「世界平和の鐘」構内（新栄公園）

母子(父子)家庭等へ医療費を助成

石垣市では今年の4月から母子（父子）家庭等へ医療費助成を行っています。

しかし、残念ながらこの制度を知らないばかりに医療費の助成を受けていない方はいませんか。まだ申請していない方は早めに手続きを済ませて下さい。

－対象者－

石垣市に住所があり、医療保険に加入している人で、次の人が対象となります。

- ①母子家庭の母と児童
- ②父子家庭の父と児童
- ③養育する父母のいない児童

－申請方法－

対象者は、下記の書類を添えて児童家庭課窓口で申請して下さい。審査後「受給者証」が交付されます。

①印鑑 ②健康保険証 ③世帯全員の住民票④自分名義の預金通帳 ⑤戸籍の謄本か抄本⑥保護者又は同居所得者の前年の所得証明書 か課税証明書（税務課で申請）

※児童扶養手当の証明を提示する方は④⑤⑥の書類は必要はありません。

問い合わせ

石垣市福祉事務所 児童家庭課 母子係

☎2-9911(内線254・255)2-1704(直通)



石垣市救急診療所

曜日	診療時間	今月の適用日
月～金	午後7時～午前0時（夜間）	下記以外の日
土曜日	午後2時～午後5時（午後） 午後7時～午前0時（夜間）	2・9・16
日曜日	午前9時～午後0時（午前） 午後2時～午後5時（午後）	3・10・17 23・24
祝祭日	午後7時～午前0時（夜間）	
年末年始の診療時間は日曜日・祝祭日と同じ		29～31/ 1月1～3日

診療科	内科・外科・小児科
受付時間	各診療時間の30分前から開始し、終了時間の30分前に締切ります

民生部健康増進課 診療所係 ☎2-4053